

## 船舶事故調査報告書

平成24年7月26日  
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決  
 委員 横山 鐵 男（部会長）  
 委員 庄 司 邦 昭  
 委員 根 本 美 奈

事故種類	操縦者死亡
発生日時	不明（平成24年5月4日（金、祝日） 長崎県南島原市女島鼻 <sup>めじま</sup> 付近に錨泊した時刻～09時01分ごろの間）
発生場所	長崎県南島原市女島鼻付近 南島原市所在の瀬詰 <sup>せづめ</sup> 灯台から真方位001° 3,400m付近 （概位 北緯32° 37.3′ 東経130° 10.1′）
事故調査の経過	平成24年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての操縦者からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート 船吉丸 <sup>ふなよし</sup> 、5トン未満 292-16545長崎、個人所有 4.07m (Lr) × 1.59m × 0.70m、FRP ガソリン機関（船外機）、3.68kW、昭和55年6月
乗組員等に関する情報	操縦者 男性 70歳 操縦免許なし
死傷者等	死亡 1人（操縦者）
損傷	なし
事故の経過	操縦者は、ひじき漁のため、平成24年5月4日08時30分ごろ自宅を出て長崎県南島原市久木山漁港 <sup>くきやま</sup> へ操縦者の親族に乗用車で送ってもらった。 漁業協同組合職員は、09時01分ごろ地元住民から「女島鼻の付け根に無人の船があり、付近に灰色の物体が浮いていて沖に流されているようだ」との連絡を受け、地元漁業者の漁船で女島鼻沖へ確認に向かい、09時29分ごろ、女島鼻沖において、灰色の作業着を着た漂流者を発見して警察と海上保安部に通報した。 本船は、女島鼻の付け根の岩場付近に錨泊した状態で発見され、本船から漂流者が発見された位置まで約200m離れていた。 漂流者は、巡視船に收容され、南島原市加津佐漁港 <sup>かつさ</sup> に運ばれたが、溺水による死亡と検案された。また、操縦者の家族により、操縦者であることが確認された。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 なし 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期、潮高 約254cm（5月4日09時長崎県南島原市口之津港）
その他の事項	ひじき漁は、5月4日12時解禁で同月10日までが漁期とされており、漁業協同組合に所属する組合員にひじき採取が許可されていた。ま

	<p>た、漁法は、潮が引く前に目的の岩場付近に投錨し、潮が引いたところで岩場に降りてヒジキを鎌で刈り取って着底した船に積み、潮が満ちるのを待って船で運ぶものであった。</p> <p>女島鼻付近は、周囲が岩場になっており、ひじき漁の漁業者がよく集まる場所で、場所取りのため、解禁時間より早めに漁業者が集まることがあったが、本事故当時、まだ誰も漁に出ていなかった。</p> <p>操縦者は、漁業協同組合の組合員であり、ふだん、本船を使わずにアワビやサザエなどの素潜り漁を行っていた。</p> <p>操縦者は、ウェットスーツの上に灰色の作業着上下を着用し、救命胴衣は着用していなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析</p>	<p>不明 不明 不明</p> <p>操縦者の死因は、溺水であった。</p> <p>本船は、女島鼻付近で錨泊後、09時01分ごろ無人のところを発見されて漁業協同組合に通報され、錨泊していることが確認されたことから、この間において、錨泊中に操縦者が落水したものと考えられるが、落水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>操縦者は、落水して溺水したものと考えられるが、溺水に至った状況を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が女島鼻付近の岩場に錨泊中、操縦者が落水したことにより発生したものと考えられる。</p>	